

● 診療科の特色

- 1) 当科は常勤医 3 名、レジデント 2 名で診療しており、成人の泌尿器科疾患全般を扱っています。診療の特色としては、癌患者が多数を占めており、増加傾向にあります。当科では、今後も泌尿器科癌を診療の中心として、この地域での「がんセンター」を目指したいと考えています。
- 2) 例年通り、手術は膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術がもっとも多く、その次は 2020 年より開始した上部尿路結石に対する経尿道的尿路結石除去術となっています。さらに前立腺肥大症に対する経尿道的手術が続きます。出血量が少ないバイポーラ電極による核出術を採用しており良好な成績となっています。
- 3) 移植用腎採取術(ドナー腎摘除術)を泌尿器科が担当しています。腎移植外科と協力して、中国・四国地方における拠点施設として腎移植医療の一翼を担っています。
- 4) がんの治療に関しては、患者さまと一緒に考え、手術、化学療法、放射線治療など高度で良質な医療を提供するように心がけています。

● 入院診療実績

1. 主要手術

年間手術件数 554 件

	手術名	件数
1	副腎摘除術	5
2	腎摘・腎部分切除術	11
3	腎尿管全摘除術	14
4	経尿道的尿路結石除去術	62
5	移植用腎採取術	9
6	膀胱全摘除術	12
7	経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT, TURBO)	102
8	根治的前立腺全摘除術	17
9	経尿道的前立腺切除術 (TURP, TUEB)	35
10	前立腺生検	144

2. 泌尿器がんゲノム医療について

当院はがん診療連携拠点病院であるとともに、がんゲノム医療連携病院です。がん診療に対してさまざまな取り組みを行っていますが、その一つにゲノム医療があります。「ゲノム」とは、一人ひとりが持っているすべての遺伝情報のことです。正しく働くことで、私たちの体は成り立っています。しかし、時に正しく働けなくなるような遺伝子の変化(遺伝子変異)が現れます。この変化を検査することによって、病気の診断や治療を行うのが「ゲノム医療」です。がんゲノム医療では、がん患者さんによって異なるがんの遺伝子変異を「がん遺伝子パネル検査」とよばれる検査などで調べ、その情報にもとづいて診断や治療を行います。がんの原因となる遺伝子変異に着目することで、がん治療の選択肢が広がると期待されています。泌尿器科では、前立腺がんをはじめ、腎がんなどでゲノム医療を実践しています。

● 研究業績

論文発表

- 1) Ichiro Tsuboi, Yuki Maruyama, Takuya Sadahira, Nobuyoshi Ando, Yasuhiro Nishiyama, Motoo Araki, Takushi Kurashige, Takaharu Ichikawa, Ryoji Arata, Noriaki Ono, Toyohiko Watanabe, Syunji Hayata, Hiroaki Shiina, and Yasutomo Nasu.
Efficacy of holmium laser enucleation in patients with a small (less than 30 mL) prostate volume.
Investigative and Clinical Urology, 62(3), 298-304 2021 Apr
- 2) Risa Kubota, Tomoyasu Tsushima, Keisuke Doi, Yousuke Inoue, Yoko Shinno, Takaharu Ichikawa.
Pancreatic cancer diagnosed by the detection of gross hematuria due to urinary bladder metastasis:
A case report
MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY, 16(1), 23-27 2022 Jan
- 3) 佐久間貴文, 丸山雄樹, 定平卓也, 高本 篤, 和田耕一郎, 小林泰之, 荒木元朗, 渡部昌実,
渡辺豊彦, 那須保友
若年発症の前立腺炎症性偽腫瘍の1例
西日本泌尿器科, 83巻1号, 54-58 2021年4月1日
- 4) 大平 伸, 清水真次郎, 福元和彦, 永井 敦, 小谷俊一, 川西泰夫, 天野俊康, 内田洋介,
岩佐 厚, 木村将貴, 小林 皇, 小堀善友, 松下一仁, 市川孝治, 今井 伸, 梅本幸裕, 黒部匡広
勃起障害に対する Prostaglandin E1 陰茎海綿体自己注射の多施設共同臨床試験
日本性機能学会雑誌, 36巻3号, 131-141 2021年12月1日

学会、研究会

- 1) 市川 孝治
A case of late-onset hypogonadism syndrome with rapidly elevated prostate specific antigen
World Meeting on Sexual Medicine 2021 2021年11月19日
- 2) 市川 孝治
2019年NHO岡山医療センター泌尿器科 手術統計
第326回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021年2月22日
- 3) 佐久間 貴文
術後15年目に再発した褐色細胞腫の1例
第327回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021年5月15日
- 4) 白石 裕雅
当院における顕微鏡下精索除神経術の検討
第328回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021年9月18日
- 5) 市川 孝治
当院におけるLOH症候群症例の検討
第328回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021年9月18日
- 6) 白石 裕雅
ORBEYEを使用した精索静脈瘤手術の検討
第73回西日本泌尿器科学会総会 2021年11月6日
- 7) 大塚 崇史
多量の恥垢蓄積により外科的介入を要した1例
第73回西日本泌尿器科学会総会 2021年11月6日
- 8) 佐久間 貴文
当院におけるTULの臨床的検討
第73回西日本泌尿器科学会総会 2021年11月4日
- 9) 市川 孝治
副腎悪性腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術の術中所見についての検討
第35回日本泌尿器内視鏡学会総会 2021年11月11日
- 10) 久住 倫宏
当院での腹腔鏡下腎部分切除術の検討:核出術と切除術の比較
第35回日本泌尿器内視鏡学会総会 2021年11月11日

- 11) 市川 孝治
腫瘍径で腹腔鏡下副腎摘除術の難易度は上がるか — 単一術者による検討 —
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021 年 12 月 7 日
- 12) 佐久間 貴文
当院における根治的膀胱摘除術における術前化学療法の見直し
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021 年 12 月 7 日
- 13) 久住 倫宏
当科で腎腫瘍の治療を行った症例の主訴についての検討
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021 年 12 月 9 日
- 14) 窪田 理沙
腎移植後に両側自己腎盂尿管癌・膀胱癌を治療し 5 年無再発の 1 例
第 109 回日本泌尿器科学会総会 2021 年 12 月 8 日
- 15) 和田 里章悟
膀胱アミロイドーシスの 1 例
第 329 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2021 年 12 月 11 日
- 16) 津島 知靖
知って得する泌尿器科保険診療の基礎的知識(西日本編)
第 73 回西日本泌尿器科学会総会 2021 年 11 月 6 日
- 17) 市川 孝治
2021 年 NHO 岡山医療センター泌尿器科 手術統計
第 330 回日本泌尿器科学会岡山地方会 2022 年 2 月 26 日

講演

- 1) 白石 裕雅
フルニエ壊疽 1 例
第 312 回岡山泌尿器科カンファレンス 2021 年 1 月 26 日
- 2) 延藤 千夏
外陰部 Bowen 病についての検討
第 316 回岡山泌尿器科カンファレンス 2021 年 5 月 25 日
- 3) 佐久間 貴文
当院におけるハイドロゲルスペーサー留置の経験
第 319 回岡山泌尿器科カンファレンス 2021 年 9 月 21 日
- 4) 久住 倫宏
Clinical Question Session 副作用のコントロール
Okayama Prostate Cancer Consensus Meeting 2021 2021 年 2 月 10 日
- 5) 市川 孝治
RCC/UC の新しい治療戦略について
RCC/UC Oncology Symposium in Okayama 2021 年 4 月 23 日
- 6) 市川 孝治
前立腺がん地域連携パスの経過について
御津医師会講演 2021 年 4 月 23 日
- 7) 市川 孝治
男性不妊治療—手術で改善が期待できる疾患 精索静脈瘤—
山陽新聞メディカ 2021 年 10 月 18 日
- 8) 久住 倫宏
オブジーボ・ヤーボイ併用療法の使用経験
IO-IO RCC WEB ライブセミナー 2022 年 2 月 14 日
- 9) 白石 裕雅
陰茎絞扼症の検討
第 322 回岡山泌尿器科カンファレンス 2022 年 1 月 25 日

座長

- 1) IO-IO RCC WEB ライブセミナー
市川 孝治 2022 年 2 月 14 日